



学童疎開船「対馬丸」 ～平良 啓子さんのお話を聞く～

3月にオンラインで開催された「第38回沖縄戦跡・基地めぐり」には、コープいしかわの組合員をはじめ全国で500名以上が視聴参加しました。その中で、平良啓子さんは、米国潜水艦の魚雷により沈没した学童疎開船「対馬丸」での壮絶な体験と平和の思いを話されました。その一部を紹介します。

対馬丸事件とは

昭和19年7月、沖縄が戦場となる危険が迫り、子どもたちを本土へ疎開させるため、子どもを含む約1,700名を乗せた対馬丸が那覇から長崎に向かいました。出航翌日の夜、米国潜水艦の魚雷攻撃を受け、対馬丸は10分ほどで沈没。多くの人々が海底へと沈み命を落としました。対馬丸事件は緘口令が敷かれ、終戦後も長い間語られませんでした。約半数が命を落とすと言われていますが、正確な人数は今も不明です。



対馬丸

日本郵船歴史博物館所蔵

乗船、そして沈没

当時、平良さんは国民学校4年生(9歳)。対馬丸には兄と姉、従妹の時子ちゃんと祖母、兄嫁の6人で乗船しました。母親は心配していましたが、「やまと(本土)に行ったら雪が見られる」と楽しみにしていました。事件の夜、船倉で寝ていると大きな音の後、船が傾き、気付いたときには体が水に浮いていました。重油や死体が浮かんで身動きできない海で流れてきた醤油樽につかまりましたが、一緒にいた従妹の時子ちゃんは大波に流されてしまいました。平良さんは真っ暗な海の上で、2畳ほどのいかだに乗りたくさんの人が群がっているところに向かいました。いかだに乗りとうする平良さんの両足を大人が後ろから引っ張ります。

私はもう死ぬと思っていました。大人に引きずられているもんですから。でも、生きたい。死にたくない。それを思わせたのが母の言葉でした。「来年3月きっと会えるからね。それまで頑張るんだよ。我慢するんだよ。泣くんじゃないよ」と言って別れて、さよならした母のことを思い出して…。来年3月、お母さんが必ず会うと言っていた。だからお母さんに会うまで死にたくない、死にたくない、と思いつつ私を引きずって(いかだから落とそうとして)いる人の手を足で蹴って、はがしたんですね。



ピースアクションinオキナワ
～第38回沖縄戦跡・基地めぐり～で
対馬丸の体験を語る平良 啓子さん

参加者感想より

夜の海の中での戦い、壮絶な状況を想像すると本当に戦争がひどく恐ろしいということ、平和の大切さを痛感しました。
(コープいしかわ 40代)



なんとかいかだにしがみつきのよじ登った平良さん。睡魔と闘いながら漂流し、夜が明けると1人減り、2人減り、6日目に無人島に流れ着きました。生存者は対馬丸が沈没したという事実が世間に知られないよう1か所に収容され、平良さんが母に会えたのは翌年の2月でした。

平良さんの思い

戦後、平良さんは小学校の教師となりました。退職後も対馬丸での体験を語りついでいます。

戦争っていうのは本当に大変だな。何のために人を殺し合うのかな。どんなことがあってあんなことをするか考えられないし、子どもたちにも平和な世の中をつくるために学問をしてほしい。学問は何のためにするのと言え、**「平和な世の中をつくるため。そのためにぼくは勉強をします」**となってほしい。これからのみなさんにはどうしても平和で安心な世の中をつくるってほしい。人間っていうのは心を合わせて、協力してお互いに平和をつくるっていうのは、どうすれば良いかというのを研究してほしい。
(平良さん談)



参加者感想より

これほどむごいことを小さな子どもが体験せざるを得なかったこと、その後ずっとその傷を背負わせてしまっていることに胸がいっぱいになります。二度と起きるはずのないことです。
(東京都生協連 60代)



参加者感想より

何の罪もない子どもたちが一番の被害者。戦後長い年数が経った今でも昨日の出来事のように話されている姿に悲しさ、つらさの深さを感じます。この声を子どもたちにつないでいきます。
(コープおきなわ 50代)



平良さんのお話を動画で聞き、いま平和を考えよう ピースアクションinオキナワ～第38回沖縄戦跡・基地めぐり～

「沖縄を知ろう!そして平和を考えよう」をテーマに開催された「ピースアクションinオキナワ」。平良啓子さんのお話を動画で直接聞いてみませんか。

見逃し動画配信は
8/31(火)まで!

他にも…

- 琉球大学 教育学部 山口 剛史准教授の講演
沖縄の歴史や基地問題についてクイズを活用して歴史・基地問題の概要を分かりやすく説明
- 全国大学生協連の平和の取り組み報告
- 沖縄戦跡・基地めぐりガイド動画



山口 剛史准教授



全国大学生協連の平和の取り組み報告



2021ピースアクションin ヒロシマ・ナガサキに視聴参加しよう

ライブ企画や公開動画を用意しています。ご都合のつく時間にぜひご覧ください。

※申込方法の詳細は8月3回おすすめ情報便をご確認ください。



ピースアクションinヒロシマ (8/4(水)～8/5(木))

- 被爆の証言・サダコと折り鶴の話 ● 虹のひろば
- デジタルアーカイブによる学習会 ● 被爆詩の朗読会

ピースアクションinナガサキ (8/7(土)～8/8(日・祝))

- 被爆の証言・平和の紙芝居 ● 被爆体験記の朗読会

平和募金にご協力を!

平和に関する学習会などの平和活動へご協力を。募金方法:OCR(注文書)の6ケタ番号記入欄に、下記の注文番号と数量(口数)を記入。eフレンズも同様。

★平和活動募金(今回のみ募金)

372684 1口:100円

★平和活動定期募金(毎週自動で募金)

348798 1口:10円

374580 1口:100円

いつでも
募金可能
です

